

記入日：令和2年8月17日

| | | |
|-------------------------------|------------------|---------------------------------|
| 所在地（都道府県/市町村）：京都府京田辺市 | | |
| 法人名：NPO 法人ソーシャルアクション・パートナーシップ | | |
| 施設・事業所名：アイ・コラボレーション京都 | 担当者名：栖川かおる | |
| 事業種類：就労継続支援B型・生活介護 | | |
| 主たる障害：身体障害・精神障害 | | 令和2年3月末現在 定員：14・6 人 |
| TEL:0774-64-7474 | FAX:0774-64-7232 | E-mail:info@i-collabo-kyoto.com |

① 令和元年度までの主な取り組み内容

パソコンを使用した作業とパソコンのスキルアップ

② 施設・事業所における新型コロナウイルスの影響

在宅利用者は孤独感を抱きやすい

③ コロナ下において新たに始められた取り組みの内容

事例タイトル： スカイプやZOOMを使用してラジオ体操の参加やチームミーティングの参加

④ ③の取り組みを始めたきっかけ・工夫した点

個別に連絡を取っていたが、人との関わりが減った今、オンラインでのプログラムや作業の参加が安心且つ望ましいと思われた。

⑤ 取り組みの効果（売上や顧客、利用者、職員、地域等における効果）

利用者：仲間感を感じられ、在宅利用者のご家族は喜ばれている。他の利用者との安心な交流が可能。
職員：オンラインでも利用者の笑顔に合えた事で在宅支援効果の実感が持てる。

⑥ ③の取り組みを開始するにあたり新たに導入した生産設備・備品（経費・財源）等

特になし

⑦ 今後の課題・展望

- ・ 今後コロナによる2度目の在宅希望者が増加される事が見込まれる。秋までの事業所通所時からオンライン参加設定と練習を行いオンライン参加者の人数を徐々に増やしていき、年末からのコロナ対応を考えている。
- ・ 対象者は希望者又は、オンライン支援が適切と思われる利用者に限る。
- ・ 自宅にWi-Fi環境が無い利用者には適さない。

・施設の許可なく利用者がスクリーンショットや録画を取り、オンラインでの様子を外部に出してしまわないか、事前の取り決めが必要。

▼スカイプでラジオ体操に参加



▼グループスカイプ

